

令和 2 年度 第 2 回群馬支部評議会 概要報告（速報）

| | |
|-------------------------|---|
| 開催日 | 令和 2 年 10 月 26 日 月曜日 10 時～ |
| 開催場所 | K ‘B I X 元気 21 まえばし 501 号室 |
| 出席者 | 新井評議員、木村評議員、齋藤評議員、坂西評議員、坂庭評議員、坂本評議員、田子評議員、細野評議員（五十音順） |
| オブザーバー | 本部 財政・支部グループ 杉浦グループ長 |
| 議題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 3 年度保険料率について 2. インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法等について 3. 保険者機能強化アクションプラン（第 5 期）の概要（案）及び令和 3 年度支部保険者機能強化予算について 4. その他 |
| 議事概要 （主な意見等） | <p>議事に先立ち、10 月 1 日付支部長着任の挨拶を行った。 また、オブザーバー参加の本部 杉浦グループ長を紹介。 各議題について事務局より資料に基づき説明。主な質疑応答内容は以下のとおり。</p> <p>○議題 1 令和 3 年度保険料率について ■資料 1 令和 3 年度保険料率について</p> <p>〔学識経験者〕 今回の新型コロナの影響をリーマンショック時の実績を踏まえて検討いただいているが、多業種への広がりや長期化、世界的な規模となっていること等を考えると、影響を小さく見積もっていると感じており、10%の維持で逆に大丈夫な状況かとの心配もある。令和 3 年度は 10%を維持し今後の状況を見つつ令和 4 年度以降の保険料率の議論をしていくべきだと考える。</p> <p>〔学識経験者〕 新型コロナ以前の理事長の発言要旨を資料としていただいているが、新型コロナを受けて理事長が何かコメントをされているのであれば教えていただきたい。</p> <p>〔事務局〕 理事長の発言ということではないが、現時点で新型コロナの影響が確認されるまでにはまだ時間を要すると考える。8 月 17 日に公表された 4 月から 6 月の G D</p> |

P速報によれば、年率換算で▲27.8%と、リーマンショックを超える戦後最大の落ち込みとなっており、今後の状況は厳しくなるものと考えられる。

なお、協会の財政については、中長期的に考えるというスタンスに変わりはない。

〔被保険者代表〕

恐らく今回の新型コロナの影響は、リーマンショック時の影響よりも大きいというのが共通認識としてあると思う。また、年明けくらいから更に影響が出てくるのではと考えている。収入が減るなかで、保険料率を下げられるなら下げてほしいという思いもあるが、中長期的に考えるのであれば、10%の維持。これ以上の負担を強いられるのは厳しい。

〔事業主代表〕

中長期的に保険料率を考えるなかで、新型コロナの影響も見つつ10%の維持を考えるのが妥当と思われる。

〔事業主代表〕

新型コロナの影響の有無に関わらず、将来的に保険料率の上昇が見込まれている。保険料率10%の維持に努力してほしい。

〔事業主代表〕

企業の倒産、また、今余力がある企業でも見切りをつけて廃業する企業が年末から増えるのではと危惧しており、間接的に協会けんぽの財政にも影響が出るのではと考えている。

〔被保険者代表〕

新型コロナ流行からまだ1年経っておらず、今後の見通しも立たない状況では、できる限り10%の維持を望む。

〔学識経験者〕

保険料率の変更時期としては、3月分からの他に選択肢はあるのか。

〔事務局〕

日本年金機構で標準報酬月額を変更する9月分からということも考え方としてはあると思われる。

〔事業主代表〕

変更時期は現状のままでよいのではないか。

○議題 2 インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法等について

■資料 2 インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法等について

〔被保険者代表〕

令和 3 年度に反映する率については 0.007% で仕方がないと考える。むしろ、次の年度での評価の方法の方が気になる。

評価方法については事務局提案のものでよい。

〔事業主代表〕

令和 2 年度の実績評価の方が難しくなると考える。

また、当社では 50 歳以上は人間ドックを受診するようになり、保健指導も受けているが、そういう人が評価の対象から外れてしまう可能性があるのはよろしくないのではないか。インセンティブの評価として、これでよいのか。

〔学識経験者〕

将来、インセンティブの評価の指標が変わることはあり得るのか。

〔事務局〕

断言はできないが、各支部で同じ条件で比較できるものを指標とするべきと考える。

〔被保険者代表〕

インセンティブ制度の本来の目的を踏まえてであれば、評価指標の見直しはあってもよい。

〔学識経験者〕

論点である 2 点について事務局案で異存はない。特に評価方法については、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、できるだけ公平に評価ができるという点で案②がよろしいかと思う。

また、影響から考えると、令和 2 年度の評価をどのようにするのかを早めに議論していくべきだと考える。

- 議題 3 保険者機能強化アクションプラン（第 5 期）の概要（案）及び令和 3 年度支部保険者機能強化予算について
- 資料 3 保険者機能強化アクションプラン（第 5 期）の概要について（案）
- 資料 4 令和 3 年度支部保険者機能強化予算（案）

〔学識経験者〕

集団健診について、新型コロナの影響を考え会場や回数を増やすとなると経費がもっとかかってしまうのではという懸念があるがいかがか。

〔事務局〕

来年度の新型コロナの影響について見通せないところではあるが、今年度末の集団健診については、昨年度よりも多く会場を準備して実施する予定になっている。

また、被扶養者の健診については、今年の 7 月以降、健診者数が戻ってきているので、当初のような状況にならないければ集団健診で多数の方に受診いただけると考えている。

〔学識経験者〕

「Web 広告等を活用した広報業務委託」について、インターネット関連の費用は効果検証が難しい部分もあるが、この事業については効果検証ができるものなのか。

〔事務局〕

現状では、作成した動画の再生回数で影響度を見ることを考えている。今後はアンケート等により効果検証ができればと考えている。

〔被保険者代表〕

継続事業に関して、結果や効果が分かるものについては、口頭での説明の他に資料の中にも記載があると評価や判断材料になるので、次回からお願いしたい。

〔事務局〕

次回からはできる限り対応していきたい。

〔学識経験者〕

Yahoo や Google 等は、利用者の興味関心があるものに関して広告表示があると思うが、関心がない人への対応はどのようにしていくのか。

〔事務局〕

今年度については Yahoo や Google にて、群馬県内の設定した年齢の方に協会けんぽのバナー広告が表示されるよう実施した。

また、インスタグラム等、他の配信先でも、群馬県内の設定した年齢の方全ての方に表示されるといった対応を行った。

サーチ広告については、「メタボ」や「医療費」といったできるだけ一般的な検索ワードを設定するように工夫をした。

〔事業主代表〕

表の中に前年度予算との比較を入れていただくようお願いしたい。事業概要は継続であっても、変更部分についてはアンダーラインで示す等の記載をしていただけると見やすくなると思うので、検討いただきたい。

〔事務局〕

次回から対応していきたい。

〔被保険者代表〕

外国人対応について予算計上されているが、コロナへの対応に関して外国人向けに多言語で広報するというような対応はされているのか。今回のコロナは特殊なケースと思われるが、緊急時の外国人への対応も今後必要かと思われる。

〔事務局〕

協会けんぽでは外国人向けにコロナの対応に関する情報提供は行っていないが、厚生労働省や群馬県のホームページで外国人向けに多言語で情報をまとめており、そちらへの誘導をしている。

〔学識経験者〕

資料 3 の 8 ページ、システムの刷新に関しては大きな費用をかけて行われているものなので、どういった効果が得られたか等、資料に明確に示していただくようお願いしたい。

〔事務局〕

本部に要望してまいりたい。

○議題 4 その他

事務局から、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては評議会の Web 開催

「機密性 2」

についても検討しており、対応が可能かどうかアンケートを実施したい旨を伝える。

| |
|-------------|
| 特記事項 |
| 傍聴者なし |